

事業番号	09 03 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	S53 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> <li>米、麦類、大豆及びそばについて再生産可能な所得の確保・向上を図るため、需要に応じた生産や品質の確保・向上が求められている。</li> <li>米については、農産物検査に基づく1等米比率が、全国トップクラスを維持しているが、麦・大豆・そばについては、近年の天候不順により、品質低下や不安定な作柄となっている。</li> </ul>
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核的水田農業経営体においてスマート農業技術が広く導入され、効率的な生産体制により、更なる規模拡大が進んでいる。《5ha以上の効率的な水田農業経営体(R4):800経営体》</li> <li>全ての種子場産地(13産地)で産地強化計画が策定され、計画に基づいた取組により産地の維持発展が図られている。</li> <li>県産の米・麦・大豆・そばが需要に応じた適正生産が行われている。《県オリジナル品種の作付面積(R4):3,370ha》</li> <li>中核的水田農業経営体において、カイゼン手法が導入されており、企業的な経営が営まれている。</li> </ul>
	【実施内容】	研修会開催、実証モデルほ場設置、高性能機械導入・施設整備支援、経営支援制度の推進、米の適正生産の推進、オリジナル品種のPR など

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	ha	2,633	2,777	↗	3,003	↗	3,136	未達成
2	米の1等米比率の全国順位	位	1	2	↘	2	→	1	未達成
3	水田への高収益作物などの作付面積	ha	10,627	10,594	↘	10,942	↗	11,385	未達成
4	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	経営体	729	719	↘	734	↗	777	未達成
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度	
事業コスト	前年度繰越額			
	当初予算額	398,689	430,944	1,004,087
	補正予算額	-56,975	-148,132	1,012,004
	合計(A)	341,714	282,812	2,016,091
	うち一般財源	39,137	38,229	36,625
決算額(B)	335,455	272,738	341,368	
職員数(人)	7.0	7.0	7.0	

成果指標及び目標値の設定理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の普及・拡大状況を評価できるため。</li> <li>本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。</li> <li>主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への高収益作物などの作付け誘導により、水田の利活用状況について評価できるため。</li> <li>本県の水田農業を担う効率的な水田農業経営を行う経営体の育成状況について評価できるため。</li> </ol>
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響等による米、そばの需要減少により、目標に達していない。</li> <li>本県の令和3年産の水稲うち玄米の1等米比率(R4年3月末現在)は95.8%で2位、1位の96.0%の岩手県とは僅差であった。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した加工用米及びそばの需要減少等により未達成となった。</li> <li>大規模農家数は増加しているものの、コロナ禍で先行きが不透明な中、投資等を控えたことなどから、目標に達していない。</li> </ol>

主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>県オリジナル品種「風さやか」の生産拡大及び品質向上を図るため、「風さやか」推進協議会が行った、 <ul style="list-style-type: none"> <li>食味コンテスト開催による生産者の技術研鑽・意欲向上</li> <li>産地ブランド化に向けた地域イベント及びPR活動</li> <li>県営業局と連携したおいしさのエビデンスの取得に向けた調査</li> <li>認知度向上を図るため、テレビCM(125本)やYouTube配信(5本)によるPR、Twitterを利用したプレゼント企画、オリジナルキャラクターを使用した販促資材の作成等</li> </ul> </li> <li>主食用米の適正生産を一層推進するため、飼料用米の取組を強化(R2:228ha⇒R3:362ha 約1.6倍)</li> <li>種子生産ビジョンに基づいた種子産地の維持発展のため、「種子場産地強化計画」の作成を支援</li> <li>大規模経営体等の育成について、35法人にカイゼン手法を活用した支援を行った。</li> </ol>	
------	--	---

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>主食用米の需要の減少が続いている</li> <li>麦、大豆について、実需から求められる質、量に達していない。特に小麦については、パン用小麦の品質・需要量のミスマッチが続いている。またそばについては、観光需要が戻りつつあるため、今後の動向を注視するとともに、需要に応じた生産を進める必要がある。</li> <li>主要農作物の種子産地では、後継者の確保・育成と施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>水田農業の高収益化においては、水田担当のみならず、園芸担当、基盤整備担当等が一体となった推進体制が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産米の強みである高品質を維持するとともに、エビデンスに基づく販路拡大によりシェアを確保する。また新たな需要創出のため、米の輸出を推進する。</li> <li>麦、大豆の品種転換を契機とし、基本技術の再徹底による品質向上を図るとともに、米の需給調整と食糧安保の両面から、増産を推進する。</li> <li>「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に基づき、「種子場産地強化計画」の策定を進め、技術継承や施設更新について計画的に支援を行う。</li> <li>園芸品目の生産振興や基盤整備担当課と連携した推進体制を構築し、各地域において高収益作物導入に意欲のある農業者について技術的・経営的な伴走支援を実施する。</li> </ul>

事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	83,183 千円	13,986 千円	90,156 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	穀物生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業収益力強化のための機械導入を支援(1か所)</li> <li>麦及び大豆産地に対して、団地化の推進や生産性向上を図る新規技術導入を支援(3産地)</li> </ul>	
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度長野県主要農作物生産振興基本計画を策定</li> <li>生産体制の強化や水田経営の体質強化のため、長野米商品性向上指導者研修会、麦・大豆・そば生産振興研修会、麦作検討会、大豆新品種産地検討会、水田農業トリプルアップ研修会を開催(各1回)</li> </ul>	
3	農産物の検査業務	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物検査制度に基づく立入検査の実施(24件)</li> </ul>	
4	地域食糧自給圏の実証実験	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係わる実証ほ場の設置と検証(1か所)</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	種子対策事業	13,318 千円	14,048 千円	14,074 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	主要農作物種子生産設備の整備に対する支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>種子管理団体が原種生産を行うために必要な機械の導入を支援</li> </ul>	
2	奨励品種決定調査	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稻、麦、大豆、そばの奨励品種決定調査ほを設置して有望系統の性状調査を実施したほか、各品目の原原種の採種ほを設置</li> <li>農家委託により水稻、麦、大豆、そばの奨励品種決定調査ほ場を設置</li> </ul>	
3	原種センターへの支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係わる支援を実施(採種ほ場現地作柄調査、採種栽培指針の発行など)</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	経営所得安定対策等推進事業	223,744 千円	232,779 千円	225,022 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長野県農業再生協議会が行う以下の取り組みを支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>経営所得安定対策の説明会や需要に応じた適正生産の意見交換会の開催(9月、11月、12月、1月)</li> <li>需要に応じた適正生産や、転換作物生産の推進資料の作成</li> </ul> </li> <li>○地域農業再生協議会が行う、農業者別生産数量目標に関する申請書配布、回収、現地確認等への支援</li> </ul>	

事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業	4,485 千円	2,524 千円	3,492 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	「風さやか」のブランド確立推進	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「風さやか」推進協議会における以下の取組を支援</li> <li>・「風さやか」食味コンテストの開催(応募数60点の中から上位8点を表彰)</li> <li>・テレビCM(125本)やYouTube配信(5本)等によるPRを実施</li> <li>・販路拡大のためのエビデンス取得に向けた調査を実施</li> </ul>	
2	小麦、大豆の産地育成の推進	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦「東山55号(しろゆたか)」「東山53号(ハナチカラ)」及び大豆「東山231号(すずみのり)」の現地実証ほを設置し。また上記小麦2品種について、加工適性等の実需者評価を実施。</li> </ul>	
3	「信州ひすいそば」の産地化プロジェクト	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州ひすいそばの特産品化に係る取組を支援(1件)</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	農業経営カイゼン導入促進事業	3,710 千円	2,173 千円	1,652 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	カイゼン手法を導入する農業経営体の育成と指導体制の強化	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模法人等におけるカイゼン手法を活用した実践活動の支援(35法人)</li> <li>・普及指導員へのカイゼン手法習得研修(10名×10回)</li> <li>・現地カイゼンチームによるカイゼン活動を実施(10課題)</li> <li>・次世代を担う農業経営者を対象としたカイゼン塾を開催(11名×3回)</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	水田農業経営確立推進指導事業	7,015 千円	7,228 千円	6,972 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	水田農家の経営体質強化支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田農家の経営確立に向け、カボチャ、白ネギ等の高収益作物等の導入検討や、地域振興品目のブランド化等のPR活動を支援(6件)</li> <li>・米の需要に応じた適正生産を緊急的に進めるため、主食用米からそば、飼料用米に転換する取り組みを支援(そば47ha、飼料用米36ha)</li> </ul>	
2	米の計画生産に係る推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田農業経営の複合化や、米の品質向上による水田農家の経営確立を支援</li> </ul>	